

ハンド九州高校選抜県予選

ハンドボールの第51回九州高校選抜大会県予選は18日、ANA ARENA浦添で男女決勝が行われた。男

子は興南が31-25で那覇西を破り6年連続32度目の頂点に立った。女子はコザが16-14で浦添に競り勝って2年連続4度目の優勝をつかんだ。優勝、準優勝した4校は来年2月に佐賀県で行われる全国選抜大会出場を懸けた九州大会に推薦される。

コザ女子 興南男子 頂点



コザ浦添 前、コザの川本星 由史の得意カッポボウの宮城愛澄(左)と平良月(右) 18日、ANAアリーナ浦添(喜守昭撮影)

ライバル対決 浦添に雪辱 コザ

コザ	16	7	9	5	14	浦添
興南	31	15	16	11	14	那覇西

女子は決勝で何度もつかり、コザと浦添とのライバル対決になった。コザは6月の選手権勝利したが、11月の新人大会は敗れており雪辱を果たした。試合はロースコアで展開し前半を過ぎてコザが9-5でリード。後半は浦添のパス回しから巻き返しに追い、20分過ぎには13-12と1点差に迫られた。チームはここでタイムアウトを入れ、冷静を取り戻す。守備を中心にチームの柱となった宮城愛澄は「自分たちのミスが原因なので、やるべきことをやる」と確認し、以降は傾き掛けた主導権を再び取り戻した。

ハイライト
試合を通してCK喜屋武倉官は「今までの一番力を出せた」と反対射撃の良さを発揮した。「相手のシュートの特徴を動画で分析していた」と鉄壁の守りで勝利に貢献した。

この試合、2得点を挙げた川本星(左)は、母親が病気で入院院を繰り返しており、チームは全員で勝利への思いを共有。優勝旗を持って帰るまで決意していた。母親は場外応援予定だったが体調不良で来られず、一人一人が余計に奮起した。川本は「私もみんなが頑張ってくれた。いい報告ができる」と涙目だった。

宮城主将は九州に向け「アツ」にも負けないチームを「アツ」とさらなる成長を誓った。(大城三太)

両サイド 得点源に興南

興南は両サイドから、簡易は「調子が良く、得点できる強みを生かして得点力が武器になった。積極的に打てた。自信になった」と7得点、2人も左の備前、右の備前、真がコートを使い、ボッシュを広く使った。相手マークを振り、相手の脅威となった。と鋭く切り込んだ。

8得点の高橋は「一本も外さなかったで自分としてはいい内容。相手エースの石原直弥に10点を許したのはチームとして反省点」と手放しでは喜ばなかった。

後半以降は運動量のある堅守を貫いた興南の勢い。相手を合わせて九州に挑みたい」とチームの課題を見詰め直した。(大城三太)



女子優勝のコザ



男子優勝の興南